

静岡県焼津市 漁師の仕事！船と漁業を知る授業③ 漁船員の仕事学ぶ

5 月 3 1 日、一般社団法人全国漁業就業者確保育成センターが主催し、全日本海員組合が後援する「漁師の仕事！船と漁業を知る授業」が、遠洋漁業の基地として知られる静岡県焼津市で開催された。この漁業就業ガイダンスは、実際に漁船を見てから就職ガイダンスに臨むという企画で、静岡県立焼津水産高等学校をはじめ、北海道、岩手県、山形県、千葉県、東京都、愛知県、富山県、島根県、沖縄県の各水産・海洋系の高等学校から約 1 0 0 人、県内外の小・中学校から約 4 0 人と生徒の保護者、漁業関係者など総勢 2 6 0 人が参加した。

午後の部 漁業ガイダンス

午後の部は、焼津市総合福祉会館（ウェルシップやいづ）に移動し、漁業ガイダンスが行われ、13 の漁業会社が参加した。

中野弘道焼津市長から「日本の水産業の未来をつないでいく大切な授業を通じ、未来を見る力を付けてほしい」とあいさつが述べられた後、高橋健二中央執行委員が「各企業から説明を受け、気になることはしっかり質問をしてほしい。今日は、船の仕事、漁船員の仕事をしっかり学んでほしい」とあいさつし、漁業ガイダンスがスタートした。

参加した高校生は、各企業のブースを回り、漁法や船種などについて、自身の将来のために真剣なまなざしで説明を受けた。

一方、中学生グループは保護者と一緒に「漁師の仕事！はじめてセミナー・水産高校と焼津を知る授業」に参加し、焼津市や参加企業から漁業の説明、各水産高等学校から各学校の説明や進路相談などを受け、漁業や漁師について理解を深めた。

閉会式では、参加した高校生から「今日の体験を、将来の進路に活かしたい」「将来のことをしっかり考えられる、いい経験だった」などの感想が述べられた。また、中学生からは「実際に船内を見学して、目で学ぶことができてよかった。将来は水産高等学校に進学したい」と感想が述べられた。

最後に一般社団法人全国漁業就業者確保育成センターの小坂智規代表理事会長から「今日の授業で学んだことを生かし、漁業の世界に飛び込んで来てほしい」と閉会のあいさつが述べられ、終了した。

「海員だより」